

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第8期中間期(平成24年4月1日～平成24年9月30日)



Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。



MUFG

証券コード：8306

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

私から、平成24年度中間期の業績および中期経営計画の進捗などをご説明いたします。



平成24年度中間期の業績

平成24年度中間期の連結純利益は2,904億円となり、業績目標(2,900億円)を達成することができました。株式市場の不振により株式減損が発生したものの、市場部門や国際部門の収益が好調であったほか、与信関係費用も安定的に推移しました。また、子会社業績も概ね順調であり、ユニオンバンク、三菱UFJ証券ホールディングス、三菱UFJニコス、アコムとも、そろって純利益を計上しました。

貸出につきましては、海外貸出が欧米アジアの各地域で順調に増加したことを主因に、全体でも平成23年度末比増加しました。預金につきましては、国内法人預金が減少しましたが、個人預金は増加しました。

財務健全性の観点では、連結自己資本比率は14.30%、中核的な自己資本の割合を示すTier1比率は12.57%となりました。不良債権比率は1.87%となりました。

普通株式の配当につきましては、中間配当は期初予想どおり6円とし、期末配当、年間配当はそれぞれ6円と12円を予想しています。

中期経営計画の進捗

今年度からスタートした3カ年の中期経営計画では、収益の安定的かつ持続的な拡大に努めるとともに、資本効率の向上に向けて経営管理態勢を強化し、グローバルに競争力を有する財務基盤の構築を目指しています。

本計画がスタートして半年が経過しましたが、3年間で展望した土台固めを着実に進めました。海外では、旺盛な資金需要に対応すべく、ロシアやカナダの現地法人で増資を行ったほか、アジアの拠点網を一段と拡充しました。国内では、銀行と証券が連携するビジネスが一層進展し、国境を越えた大型のM&A案件や、大型の新株発行主幹事案件の獲得といった事例も増えつつあります。また体制面では、市場性業務における銀行と証券の連携強化を目的として市場連結事業本部を設立したほか、企業経営者のニーズにワンストップでお応えすべく法人拠点とリテール拠点の一体運用を進めました。

今後も、国内営業力の強化、グローバルな成長の取り込み、グループ会社間連携のさらなる推進などを進め、収益力の強化に向けて取り組んでいきます。

資本政策については、引き続き「自己資本の充実」「収益力強化に向けた資本の活用」とのバランスをとりながら、「株主還元の一層の充実」を目指していきます。

MUFGは、「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」を目指し、中期経営計画の着実な遂行を通じて企業価値を増大させ、株主の皆さまの期待や信頼にお応えしてまいります。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
取締役社長

永易克典

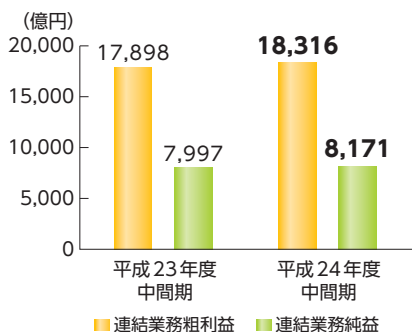
平成24年度中間期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結中間純利益は、2,904 億円となり、当初目標 (2,900 億円) を達成。株式市場の不振により株式減損が発生したものの、市場部門や国際部門収益が好調であったほか、与信関係費用も安定的に推移
- 貸出金は、海外貸出が順調に増加したことを主因に前年度末比 0.1 兆円増加。預金は、個人預金が増加したことを主因に 0.2 兆円増加
- 連結自己資本比率は、前年度末比 0.60 ポイント低下の 14.30%

損益の状況

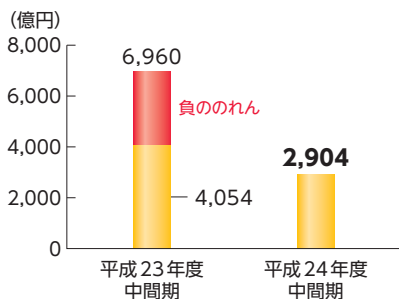
連結業務粗利益・連結業務純益



連結業務粗利益は、国内預貸金収益、市場運用利息、消費者金融子会社の貸出残高の減少を主因に資金利益が減少したものの、国債等債券関係損益や海外貸出収益の増加などにより、前年同期比 417 億円増加の 18,316 億円となりました。

営業費は、海外事業強化に係る経費を主因に 242 億円増加しました。以上の結果、**連結業務純益**は 174 億円増加の 8,171 億円となりました。

連結中間純利益



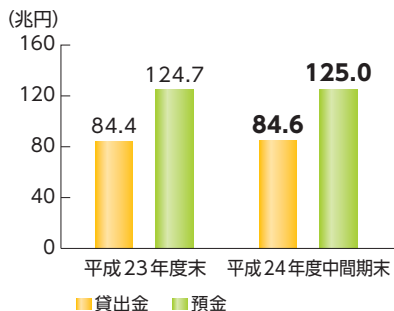
与信関係費用総額は、大口先の格付見直しなどもあり 622 億円の費用となりましたが、当初想定 of 1,000 億円は下回りました。株式等関係損益は、株価の下落に伴い 1,735 億円の損失となりました (詳しくは 4 ページをご覧ください)。

以上の結果、**連結中間純利益**は 2,904 億円となり、昨年計上したモルガン・スタンレー関連会社化に伴う一時的な利益を除いたベースで前年同期比 1,149 億円の減少となりましたが、当初目標の 2,900 億円は達成しました。

(注) 業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金の状況

貸出金・預金

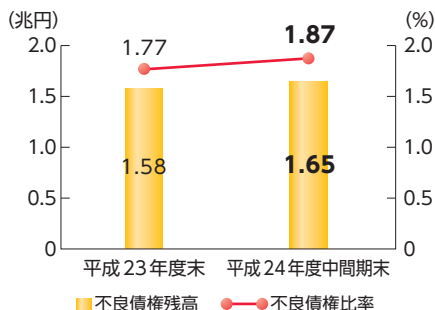


貸出金は、住宅ローンが減少したものの、海外貸出の増加を主因に、前年度末比0.1兆円増加の84.6兆円となりました。

預金は、国内法人預金は減少したものの、個人預金が増加したことなどから、0.2兆円増加の125.0兆円となりました。

不良債権残高・比率の状況

不良債権残高・比率



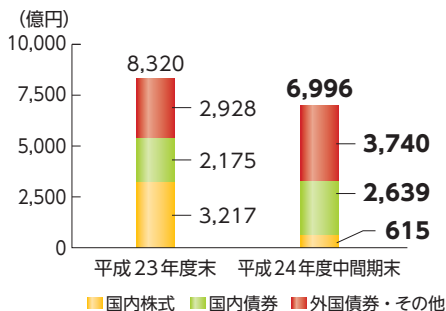
不良債権残高*は、前年度末比で微増の1.65兆円となりました。

不良債権比率*は、0.09ポイント上昇の1.87%となりました。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

有価証券の含み損益の状況

有価証券の含み損益

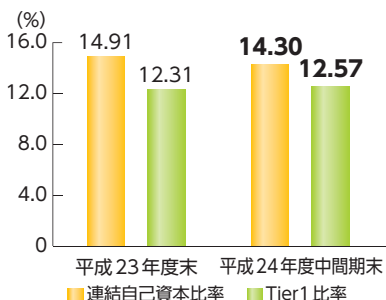


有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、前年度末比1,324億円減少し、6,996億円の含み益となりました。株式相場の下落に伴い、国内外株式の評価損益が減少しましたが、国内外債券の評価損益は増加しました。

平成24年度中間期の業績

連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率・Tier1比率



連結自己資本比率*は、劣後債の償還等により自己資本が減少し、前年度末比0.60ポイント低下の14.30%となりました。

Tier1比率**は、0.26ポイント上昇し12.57%となりました。

* 自己資本比率=自己資本÷リスク・アセット

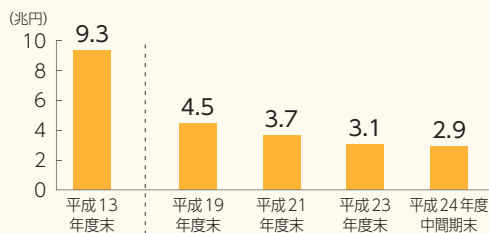
** Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金など)÷リスク・アセット

平成24年度中間期決算に関するQ&A

Q1 なぜ株式等関係損益で損失が出たのか教えてください。

A1 株式等償却(減損)で損失が出たためです。銀行がお取引先企業との間でお互いに持ち合っている株式は、会計上「その他有価証券」という勘定区分に分類され、その評価損益は原則として損益計算書に反映させる必要はありません。ただし、時価が取得原価に比べて著しく下落し、かつ回復する見込みがあると認められない場合には減損処理(Q2ご参照)が必要となり、損益計算書で損失が計上されます。株式保有は、株価下落時に損益に与える影響が大きいことから、削減に向けて努力しています。

保有株式*の削減状況



* その他有価証券で時価のある国内株式の減損後取得原価(三菱東京UFJ銀行+三菱UFJ信託銀行)

Q2 株式の減損処理について教えてください。

A2 当社および国内連結子会社は、期末時点の時価と取得原価を比較して減損処理の要否を判断しています。減損処理が必要な場合、期末時点の時価評価額と取得原価との差額を損失として経理処理します。四半期決算ごとに実施しますが、最終的には年度末の数値で確定します。

(単位：億円)

損益の状況(連結)	平成23年度中間期 (平成23年4月～9月)	平成24年度中間期 (平成24年4月～9月)
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	17,898	18,316
資金利益	9,078	8,762
信託報酬+役員取引等利益	5,233	5,184
特定取引利益+その他業務利益	3,587	4,368
営業費	9,901	10,144
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	7,997	8,171
臨時損益(△は費用)	1,589	△ 2,647
与信関係費用総額*(△は費用)	△ 286	△ 622
株式等関係損益	△ 967	△ 1,735
持分法による投資損益	3,216	274
経常利益	9,586	5,700
特別損益(△は損失)	44	△ 269
法人税等合計	2,093	1,947
少数株主利益	576	578
連結中間純利益	6,960	2,904
除く負ののれん	4,054	2,904

* 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+償却債権取立益+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)

(単位：億円)

資産・負債の状況(連結)	平成23年度末	平成24年度中間期末
資産の部	2,188,616	2,186,411
貸出金	844,926	846,811
有価証券	782,647	772,768
負債の部	2,071,858	2,067,742
預金	1,247,892	1,250,858
純資産の部	116,757	118,669

(単位：億円)

連結自己資本比率の状況(第一基準)	平成23年度末	平成24年度中間期末
自己資本比率	14.91%	14.30%
Tier1 比率	12.31%	12.57%
自己資本	127,425	123,184
Tier1	105,222	108,322
リスク・アセット	854,565	861,179

クローズアップMUFG

MUFGグループは、さまざまな金融分野に有力なグループ会社を有する総合金融グループです。「クローズアップMUFG」では、今回からこうしたグループ会社をシリーズでご紹介します。第一回は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券です。

■三菱UFJモルガン・スタンレー証券

Q. 会社概要・特長について教えてください。

A. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、平成22年5月にMUFGとモルガン・スタンレーの戦略的提携の一環として誕生しました。旧三菱UFJ証券の国内事業と旧モルガン・スタンレー証券の投資銀行部門を統合した総合証券会社で、主な取り扱い業務は以下のとおりです。

個人・法人向け営業	債券・株式・投資信託等運用商品の販売
市場商品業務	有価証券等の流通市場における売買
投資銀行業務	債券・株式引受、M&Aの助言

MUFGの強みである幅広いお客さま基盤・ネットワークと、モルガン・スタンレーの強みであるグローバルな情報力・商品力を融合させて、お客さまの高度化・多様化する資金運用ニーズにより的確かつ迅速にお応えするとともに、企業のお客さまの国境をまたぐ事業再編・M&Aや海外での資金調達ニーズなどにもお応えしています。

Q. 業界でのランキングについて教えてください。

A. 三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、上記の特長を活かすことで、特に債券の発行・流通市場、M&Aの市場で、存在感を示しています。

債券発行市場では、トムソン・ロイター社が発表するリーグテーブルで今年度上期は第1位となり、債券流通市場でも、例えば

〈国内債券引受総合*1〉

順位	証券会社	金額(億円)
1.	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	15,902
2.	みずほ証券	14,276
3.	大和証券	9,435
4.	野村証券	9,150
5.	SMBC日興証券	5,580

*1 トムソン・ロイター提供DealWatchより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。平成24年4月～9月までの払込ベースでの金額

財務省が発表する日本国債の「応札・落札順位」において、3半期連続（2012年10月現在）で総合第1位を獲得しています。M&Aの助言でも、国境をまたぐM&Aのリーグテーブルで今年度上期は第1位（M&A全体では第2位）に、国内株式の引受業務でも第3位になりました。

〈M&A クロスボーダー公表案件*2〉

順位	証券会社	金額(億円)
1.	三菱UFJモルガン・スタンレー証券	11,321
2.	野村證券	10,391
3.	JPモルガン	8,610
4.	ゴールドマン・サックス	6,544
5.	みずほフィナンシャルグループ	6,303

*2 トムソン・フィナンシャル提供データより三菱UFJモルガン・スタンレー証券作成。平成24年4月～9月までに完了したクロスボーダー（国境をまたいだ日本企業関連の）のM&A案件

Q. 最近の取り組みについて教えてください。

A. 三菱東京UFJ銀行や三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーとの協力関係を深めています。

銀行、信託のお客さまに金融商品を提供する業務では、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の社員が銀行や信託に出向し、金融商品仲介口座を通じて証券会社の多様な商品・サービスを提供することでグループの預かり資産の拡大につなげています。

また、当社の証券取引口座と銀行の金融商品仲介口座を両方開設することで、銀行のお客さまが外債の購入などを含む証券のフルサービスを受けることのできる「ダブル口座」も推進しています。

モルガン・スタンレーとの協力では、個人のお客さまに対して、同社の売出債やモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが運用する投資信託の提供を開始しました。



本店内のコンサルティングルーム

■ 企業プロフィール

会社名：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
 本店所在地：東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルディング
 設立日：1948年3月4日
 資本金：405億円
 従業員数：4,740名（2012年3月31日現在）
 国内営業拠点数：64（本支店）（2012年6月25日現在）
 URL：<http://www.sc.mufg.jp/index.html>



優待サービスのご案内

三菱UFJモルガン・スタンレー証券の国内株式等売買委託手数料割引

詳しくは優待パンフレットをご覧ください。

1 店頭でのお手続きが お届け印なしでもICカードで可能に

平成24年8月、三菱東京UFJ銀行は、個人のお客さまに対して、同一名義口座間の振り替えや各種申込みなどの店頭取引を、お届け印なしでもICカードと暗証番号による確認でお手続きできるサービスを開始しました。ICキャッシュカード(またはスーパーICカード)をお持ちの個人のお客さまご本人であれば、本サービスをご利用いただくことができます*。

また、定期預金など一部のお取引では、窓口を設置しているモニターを利用して申込書を自動作成できます。本サービスを合わせてご利用いただくことで、書類へのご記入や押印なしでお取引を行うことができるようになりました。

三菱東京UFJ銀行では、これからもお客さまの利便性向上に取り組んでいきます。

*共通印鑑という形式でお届け印をご登録いただいた口座が対象になります。



2 「BizSTATION」に新サービスを追加

平成24年10月、三菱東京UFJ銀行は、企業のお客さま向けのインターネットバンキング「BizSTATION」にお借入関連機能を追加しました。

もともと、「BizSTATION」では、振り込みや振り替えに加え、総合／給与振込や外国為替などのお取引が可能でしたが、今回これに、当座貸越専用口座*でのお借入申込みや、借入明細・計算書・返済予定表を照会できる機能を追加しました。これにより、企業のお客さまが、オフィスのパソコンからスピーディーにお手続きやご照会ができるようになり、ペーパーレス化を進めることもできるようになりました。

三菱東京UFJ銀行では、これからも「BizSTATION」のサービス内容を充実させ、お客さまの利便性向上に取り組んでいきます。

三菱東京UFJ銀行

*別途審査を経た上で開設する貸出専用口座を使い、融資極度額まで所定の方法により借入と返済ができる資金調達方法。



3 カナダ三菱東京UFJ銀行が増資を実施

平成24年8月、カナダ三菱東京UFJ銀行は1億5千万カナダドル(約115億円)の増資を行いました。同行は、昭和56年に設立された三菱東京UFJ銀行100%出資の現地法人で、企業のお客さまに融資、預金、決済、為替、投資銀行サービスを提供しています。

カナダは世界第2位の国土に石油・天然ガスなど豊富な天然資源があることに加え、法制度が十分に整備されていることから、安定的な成長が期待できるとして、近年、世界各国からの投資が増えています。また、連邦政府・州政府の関与もあり、病院施設の建替や公共交通機関の整備といったインフラストラクチャー向けのほか、再生可能エネルギーへの投資が積極的に進められています。

カナダ三菱東京UFJ銀行では、今回の増資により、お客さまの当地での業務展開をさらに力強くサポートするとともに、収益力を一層高めていきます。



4 アジア戦略フォーラムを開催

平成24年9月、三菱東京UFJ銀行は、東京・名古屋・大阪でアジア戦略フォーラムを開催し、900名を超えるお客さまが参加されました。本フォーラムは、アジア展開を進める企業のお客さまへの情報面での支援を目的とするものです。

当日は、アジア各国の経済、法的リスクをテーマとした講演のほか、平成24年8月に同行が各国の投資環境比較について出版した「アジア進出ハンドブック」の内容をベースにパネルディスカッションを行いました。同行は、企業のお客さまの海外ビジネスを支援するセミナーを頻繁に開催しており(平成24年度は25テーマで開催予定)、積極的に情報提供を進めています。

なお、「アジア進出ハンドブック」の印税は全額「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」に寄付されます。



社会とともに

MUFGグループは、地域・社会の一員として、社会全体の重要課題の解決に貢献したいと考え、行動しています。

今回は、スポーツを通じた社会貢献活動や愛知・岐阜エリアでの地域貢献活動などをご紹介します。

スポーツを通じた社会貢献活動

■「MUFGカップ」／「MUFG ガールズサッカー交流大会」

MUFGは、小学校6年生を対象とする卒業記念サッカー大会「MUFGカップ」と、小中学校の女子を対象とする「MUFGガールズサッカー交流大会」を開催しています。これは、子どもたちに、スポーツを通じて仲間との絆や関係者への感謝の気持ちなどを学んでほしいという思いを込めたイベントです。



■「スペシャルオリンピックス日本」

三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行は、知的発達障がいのある方たちにスポーツトレーニングや競技の機会を提供し、社会への積極的な参加を応援する「公益財団法人スペシャルオリンピックス日本」に協賛しています。各社の従業員は、競技会や大会のサポート、チャリティウォークにボランティアで参加し、競技者との交流を深めています。



■「FITチャリティ・ラン」

MUFGグループ各社は、「FITチャリティ・ラン」の運営に協力しています。これは、チャリティマラソンを通じて資金を集め、認知度が低いなどの理由により十分な活動資金を確保できていない慈善団体へ寄付をすることで、社会貢献を行うものです。

MUFGグループの地域貢献活動

第7回 三菱UFJ信託銀行一愛知・岐阜エリア

三菱UFJ信託銀行の愛知県と岐阜県にある7拠点では、愛知県社会福祉協議会と共催で、愛知県内の児童養護施設の子どもたちと楽しく学べるイベント「フレンドサークル」を、毎年開催しています。これは、自然観察会やスポーツ大会などさまざまなプログラムを提供することで、子どもたちにいろいろな体験や思い出づくりをしてもらい、健やかに成長してほしいという思いによるものです。



第5回目となる前は、愛知県内12カ所の養護施設の子どもたち68名と引率者14名、社員57名が参加し、愛・地球博記念公園で、園内を散策しながら自然と親しむオリエンテーリングなどを行いました。遊びを交えながら自然の大切さを体験した子どもたちからは心のこもったお礼状をいただきました。

「花壇再生プログラム」

MUFGは、津波で大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の小学校・中学校・高校の花壇の再生プログラムに取り組んでいます。最近では平成24年10月から6週連続で毎週末に行いました。これまでに18回行い、約600名の社員がボランティアとして参加しています。



「CSRレポート2012」発行

平成24年10月、MUFGグループは、「CSRレポート2012」を発行しました。本誌を通じて、企業の社会的責任(CSR)活動の内容や課題を皆さまにご報告しています。同誌はMUFGのホームページやお近くの三菱東京UFJ銀行・三菱UFJ信託銀行の窓口でご覧いただけます。

CSRレポートのホームページ <http://www.mufg.jp/csr/csrreport/>



三菱東京UFJ銀行 イスタンブール駐在員事務所



トルコ イスタンブール

イスタンブール

トルコのイスタンブールは、ボスポラス海峡を挟んでアジアとヨーロッパの2つの大陸をまたぐ場所に位置し、ローマ帝国、ビザンチン帝国、オスマン帝国の首都として発展してきました。現在でも、近郊を含めた人口は約1,400万人と首都アンカラを上回る大都市で、周辺国を含めた経済・文化の中心地です。



歴史的建造物が並ぶ旧市街一帯は世界遺産として登録されており、なかでもキリスト教とイスラム教が共存するアヤソフィア博物館や巨大なブルーモスクなどがあるスルタンアフメット地区は、世界中の観光客を惹きつけています。一方、新市街では、高層ビルや洗練されたショッピングセンターの建設が進み、ビジネスチャンスを求めて多くの海外企業が進出するなど、著しい経済発展をみせています。



親日家の多いイスタンブールは、日本人にとって居心地の良い都市です。

拠点紹介

イスタンブール駐在員事務所



イスタンブール駐在員事務所は昭和61年に設立された拠点で、駐在員3名、現地行員7名が勤務しています。トルコは、若い労働力が豊富で、活気あふれる国です。一昔前までは、安価な労働力を求めて製造業の進出が目立ちましたが、最近では、内需の拡大に着目した販売会社の進出が増えています。現在進出

している日系企業も140社を超えており、これらのお客さまのニーズに積極的にお応えするため、平成25年10月に現地法人としてトルコ三菱東京UFJ銀行を開業する予定です。



現地レポート



■ アヤソフィア博物館

東ローマ帝国時代にはギリシャ正教会の大聖堂でしたが、オスマン帝国時代にモスクに改修されました。現在は二つの異なる宗教が共存する建物として、一番の人気スポットです。

■ ボスポラス海峡

ヨーロッパとアジアが交わるボスポラス海峡は、古くから黒海と地中海をつなぐ海上交通の要衝です。海岸沿いは、市民の憩いの場所になっています。



■ グランド・バザール

4,000以上の店が軒を連ねる屋内市場のグランド・バザール。狭い路地が複雑に交差し、まるで迷宮のようです。トルコの特産品である絨毯・絵付け陶磁器・革製品からジュエリーまで、さまざまなものが販売されています。

■ ドネル・ケバブとアイラン

トルコ料理は、フランス料理、中国料理に並び世界三大料理に数えられます。ドネル・ケバブは、その代表的な肉料理です。アイランは、塩味のヨーグルト・ドリンク。さっぱりとしていて肉料理に良く合います。



MUFGからのお知らせ

MUFGでは、日頃ご支援いただいている株主さまを対象に、下記のとおりセミナーを開催いたします。なお、当社株式を長期に保有いただいている株主さまへの感謝として、ご応募いただいた方のうち、当社株式を5年超保有*の株主さまの当選確率を通常より2倍に優遇させていただきます。


*中間期末日および期末日の株主名簿に連続11回以上記載

1. 開催概要

募集対象者……平成24年9月末時点で当社株式をお持ちの株主さま
(同伴者1名さままで可)

参加費……無料

経済セミナー(東京・大阪・名古屋 ー 午前の部、午後の部 2回開催 ー)

開催場所 開催日 募集人数	【東京】東京都千代田区	平成25年3月12日(火)	各回300名
	【大阪】大阪府大阪市中央区	平成25年3月18日(月)	各回200名
	【名古屋】愛知県名古屋市中区	平成25年3月14日(木)	各回150名
	各地域の三菱東京UFJ銀行内ホール		
時 間	[午前の部]10:30～12:00頃 [午後の部]14:00～15:30頃		
内 容	テーマ：「内外の経済・金融を展望する」(仮題) 講 師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 執行役員調査本部長 五十嵐 敬喜 氏		

2. 応募要領

応募方法：同封の「MUFG株主セミナー参加申込書」に必要事項をご記入の上、ご投函ください。

締め切り 平成25年1月7日(月)消印有効

ご記入要領

1. ご希望のセミナーおよび開催日時を選択してください(いずれか一つのセミナーをお選びください)。
2. 株主さまのご住所、お名前(ふりがなを含む)、お電話番号、株主番号(「配当金領収証」または「配当金計算書」の住所氏名欄の下段8桁の番号)をご記入ください。
3. ご同伴者さまがいらっしゃる場合は、その方のご住所、お名前(ふりがなを含む)もご記入ください。
4. 個人情報保護シールをはがし、折り曲げてしっかりと貼り付けてご投函ください。

抽選の上、当選された株主さまには平成25年2月中旬にご招待状をお送りいたします。

◎ご注意◎

1. 当日の受付時刻および場所等の詳細につきましては、当選された株主さまのみにご案内いたします。
2. 開催場所までの往復の交通費は各自でご負担いただきます。
3. 応募時に必要事項の記入漏れがあった場合には、無効となる可能性がございます。
4. やむを得ない理由で中止や内容変更となる場合がございます。

3. 動画配信

左記の経済セミナーの様子を当社ホームページにて公開します。詳細は以下をご覧ください。

▶▶ リンク先情報

当社ホームページ内『動画配信』(<http://www.mufig.jp/investors/movie/>)

▶▶ ID

mufig

▶▶ パスワード

201303

MUFG 株主さま向けセミナー開催

平成24年10月に開催した為替相場セミナーおよび経済セミナーには多数のご応募をいただき、誠にありがとうございます。本セミナーから、5年超保有の株主さまの当選確率を通常の2倍にすると同時に、経済セミナーのインターネットによる動画配信を開始しました。セミナーには合計で1,466名の方々にご来場いただきました。

10月2日、3日(ともに東京)に開催した為替相場セミナーでは、三菱東京UFJ銀行市場企画部の内田チーフアナリストが「外国為替相場の見方と今後の展望」と題して講演し、その後、ディーリングルームの見学を行いました。また、4日(東京)、10日(名古屋)、11日(大阪)に開催した経済セミナーでは、三菱UFJリサーチ&コンサルティングの五十嵐調査本部長が「内外の経済・金融を展望する」と題して講演しました。

終了後のアンケートでは、「講演が大変分かりやすかった」「今後も株主セミナーを続けてほしい」などのご意見をいただきました。



為替相場セミナー



経済セミナー

お問い合わせ先：株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

MUFG 株主倶楽部
専用デスク

0120-321-629 (通話料無料)

代表電話

03 (3240) 8111 (通話料有料)

受付時間：土・日・祝祭日を除く9：00～17：00

会社情報 / 株式情報

取締役・監査役 (平成24年10月1日現在)

取締役会長 (代表取締役)	おきはら たかむね 沖原 隆宗	取締役	とよいづみ としろう 豊泉 俊郎	取締役*	あらかき りゅうじ 荒木 隆司
取締役副会長 (代表取締役)	おかうち きんや 岡内 欣也	取締役	ひらの 信行	取締役*	わたなべ かずひろ 渡邊 一弘
取締役社長 (代表取締役)	ながやす かつのり 永易 克典	取締役	てらおか しげお 寺岡 俊介	常勤監査役	まえだ てつお 前田 哲男
取締役副社長 (代表取締役)	たなか まさあき 田中 正明	取締役	わかばやし たつお 若林 辰雄	常勤監査役	ねもと たけひこ 根本 武彦
専務取締役 (代表取締役)	ゆうき たいへい 結城 泰平	取締役	あらかき さぶろう 荒木 三郎	監査役**	たかすか つむぎ 高須賀 蒔
専務取締役 (代表取締役)	はまかわ いちろう 浜川 一郎	取締役	のぐち ひるゆき 野口 裕幸	監査役**	おかもと くんにえ 岡本 園衛
常務取締役 (代表取締役)	かがわ あきひこ 加川 明彦	取締役	とくなり むねあき 徳成 旨亮	監査役**	いけだ やすし 池田 靖

* 荒木 隆司、渡邊 一弘の各氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
** 高須賀 蒔、岡本 園衛、池田 靖の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式事務のご案内

定時株主総会基準日	3月31日	
定時株主総会	6月下旬	
配当金受領株主確定日	期末配当金3月31日 / 中間配当金9月30日	
公告掲載方法	当社の公告は電子公告により行っております。 電子公告掲載URL : http://www.mufig.jp/ ただし、やむを得ない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋、ニューヨークの各証券取引所	
株式事務取扱場所	株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
	事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	お問い合わせ先・ 郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 : 0120-232-711 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

■ 株式に関するお手続き

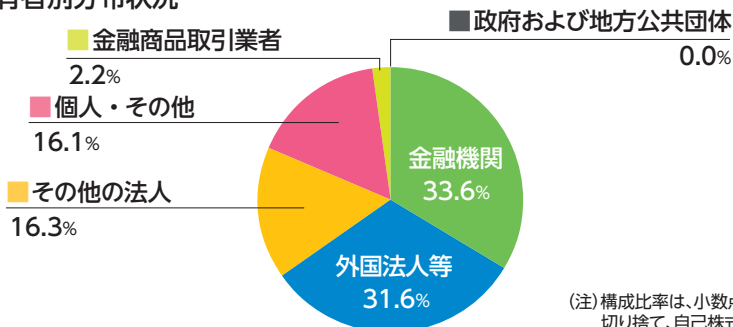
住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、買取請求その他各種お手続き	<ul style="list-style-type: none"> 証券会社の口座に当社株式が記録されている株主さま 口座を開設されている証券会社(口座管理機関)でお手続きください。 特別口座に当社株式が記録されている株主さま 上記三菱UFJ信託銀行にお問い合わせ願います。
未受領配当金の支払	三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いします。

(注)「特別口座」とは、株券電子化実施までに証券会社等を通じて証券保管振替機構に預託されなかった株式について、平成21年1月の株券電子化制度への移行時に、株主の権利を確保するため、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)に株主名簿上の株主名義で開設された口座です。

株式の状況(普通株式) (平成24年9月30日現在)

■ 株式の状況	発行済株式の総数	14,158,585,720 株
	株主数	769,589 名

■ 所有者別分布状況



■ 大株主

	持株数(株)	持株比率(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	882,087,100	6.23
2 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	658,402,500	4.65
3 SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT - TREATY CLIENTS(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	375,815,350	2.65
4 日本生命保険相互会社	271,322,953	1.91
5 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口 9)	263,407,100	1.86
6 ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	227,776,694	1.60
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(明治安田生命保険相互会社・退職給付信託口)	175,000,000	1.23
8 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エスエル オムニバス アカウト(常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	171,725,472	1.21
9 ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズ(常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	166,065,641	1.17
10 トヨタ自動車株式会社	149,263,153	1.05
合計	3,340,865,963	23.59
発行済株式総数	14,158,585,720	100.00

- (注) 1. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. ザ バンク オブ ニューヨーク メロン アズ デポジタリー バンク フォー デポジタリー レシート ホルダーズは、ADR(米国預託証券)発行のために預託された株式の名義人であります。

グループメッセージについて

Quality for You

確かなクオリティを、明日へ。世界へ。

「Quality for You」は
『質』の高いサービスの提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして『You=お客さま』を基点に『You=地域・社会』の
発展にも貢献していきたい」という
私たちの姿勢を表しています。
「確かなクオリティを、明日へ。世界へ。」は
『いかなる時代にあっても『確かなクオリティ』を
お届けし、お客さまの成長・歩み・夢を、
『明日へ』、『世界へ』つなげていきたい』
という私たちの想いを表しています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufig.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)